






次の100年を創造する地域と家族の繋がりを作る『保育園留学』

取組開始時期	2021年8月	取組の カテゴリー	①地域活性化	応募部門 (○を付ける)	PF会員間連携部門	○	一般部門
---------------	---------	----------------------	--------	-------------------------	-----------	---	------

1. 団体名	株式会社キッチンハイク	2. 連携先の 団体	◎北海道厚沢部町役場 政策推進課、農に生きる推進協議会、北海道厚沢部町認定こども園「はぜる」、素敵な過疎づくり株式会社、庄山農園、前田農園
---------------	-------------	-----------------------	---

3. 取組目的	地域の遊休資産を活用し、新たな暮らし体験を提供することで、都市生活者との家族ぐるみでの超長期的な関係人口化を図る。さらに過疎地域において先進事例を創出し、ブランディングやPRに寄与する。	4. 関連する ゴール	    
----------------	---	------------------------	---

5. 取組経緯

夫婦共働きで子育て世代の弊社代表が、北海道厚沢部町へ3週間のお試し移住を経験。子どもを現地のこども園へ預け、夫婦が無理なくワーケーションを実現。土日は親子で農業体験も行い、感受性が生まれ始める幼少期に自然体験や食育を体験する重要性を再確認。厚沢部町役場、認定こども園、移住施設、地元農家と連携し、自らの体験を事業へと昇華。クラウドファンディングで予算を達成し、運営資金を調達。今後はアジア圏まで事業拡大を予定。

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

内閣府「一時預かり事業」を活用した、親子ワーケーションプログラム。保育園や遊休物件等の点在した資産を一つにパッケージ化。過疎地域に子育て家族を招き入れ、関係人口創出と地域経済への貢献を実現する。



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- ・地域の既存資産をそのまま生かし、連動させる事で「保育園留学」という新たな体験パッケージを誕生させた。地域活性並びに雇用創出にも繋がった。
- ・地方における子育て世代の流出と、都市における子育て資源の供給不足の相互課題を解決した。

ステークホルダーとの連携

- ・地方自治体（厚沢部町）公認のもと、地域の認可保育園・認定こども園と公式連携し、内閣府による「一時預かり事業」を活用し事業を展開。
- ・関係人口創出に関わるまちの事業（移住支援を目的とした居住施設運営者）とも連動。

モデル性・波及性

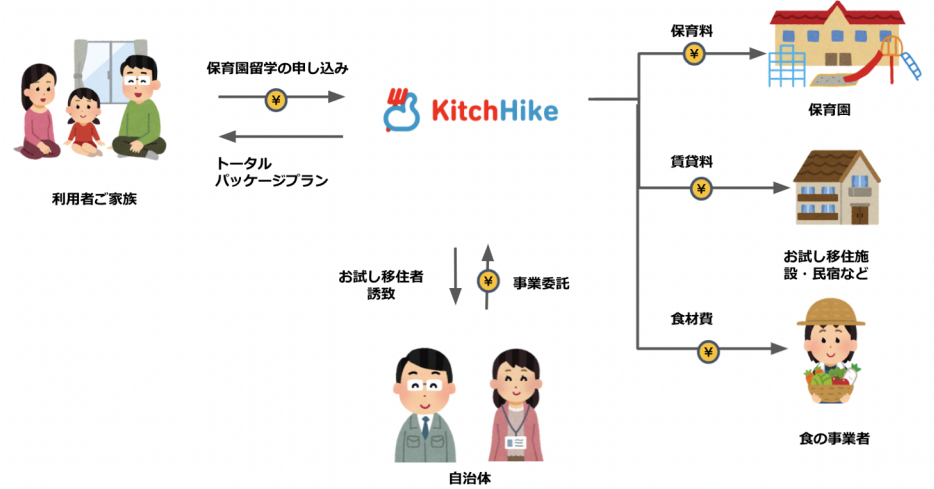
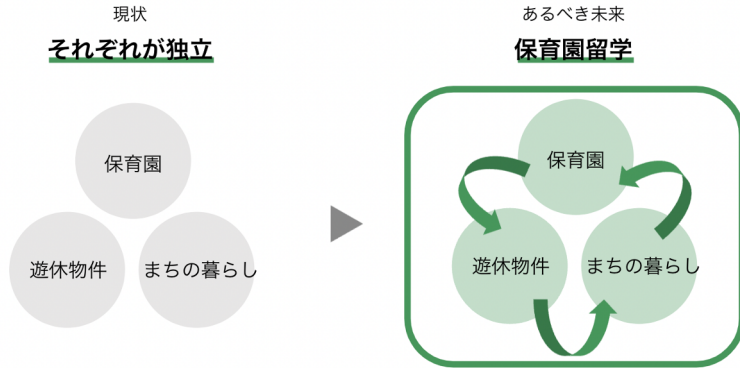
- ・自主財源確保の為にクラウドファンディングを活用（開始1週間で280%達成）。自治体予算や補助金に左右されない運営が可能。
- ・都市部家庭が子育てに求める、食育・自然・異文化理解等のニーズを満たす事業で、市場拡大を見込む。

7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

取組内容の詳細

地域にある遊休資産を活用し、
「保育園留学」というパッケージにして提案

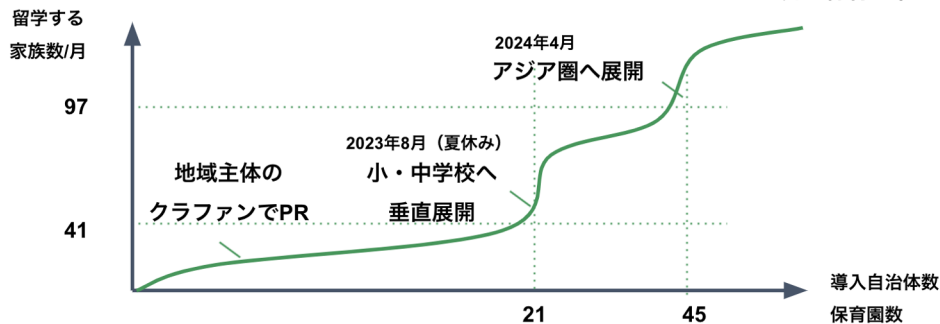
地域関係者（保育園、移住施設管理者、生産者）の収益に寄与



今後の方向性

マッチングの質が高まるように、留学家族と連携保育園を増やす

- ・地域側に歓迎される家族を誘致すべく、教育的趣旨、社会的趣旨を訴求
- ・地域事業者を主体的に巻き込み、社会性を高め、地域側からのリファラル促進



取組の成果

保育園留学プロジェクト支援
クラウドファンディング1週間で280%達成



- ・開始1週間で、保育園留学希望の10家族から問い合わせ
- ・シンガポール、イギリス等、海外からの問い合わせも
- ・北海道新聞、AERAに掲載され、メディア反応高